

様式第2号（第10条関係）

会議結果のお知らせ

- 1 開催した会議の名称 平成30年度第2回弥生地域振興審議会
- 2 開催日時 平成30年9月25日（火） 19時00分から21時00分まで
- 3 開催場所 弥生振興局 2階 第2会議室（佐伯市弥生大字上小倉656番地1）
- 4 出席者
委員：市原雄次郎・岩佐礼子・荻英利子・狩生いづみ・染矢庄治・藤原映治・
宮島尚貴・矢部加奈
(委員10人中8人出席)

(市職員等)

- 弥生振興局長 : 五十川一弥
弥生振興局地域振興課地域振興係 : 河野国広、官崎一也、河野誠
弥生振興局地域振興課市民サービス係 : 高司昌彦
地域おこし協力隊 : 藤原千恵
政策企画課政策企画係 : 安藤正充 (計7人)

- 5 公開、非公開の別 公開
- 6 傍聴人数 0人
- 7 議題および結果

(1) 平成30年度第2次佐伯市総合計画の検証結果について（諮問）

ア 第2次佐伯市総合計画、弥生地域の取組状況を事務局より説明し、その内容について質疑応答を行った。主な発言内容は以下のとおり。

①地域別の計画について

- 特産品を作るのであれば、審査会やイベント等をやれば色々な人から良い意見が出るのではないかな。
- 地域産品の掘り起こしと調査・研究が大事だと思う。「生姜の町やよい」の取組の反省点も踏まえて続けていくことが弥生の特産品開発の近道になると思う。
- 地域活性化の取組について、一回だけやって続かないという事は結構ある。

一般の方と長い間協力して行う事は難しい部分もあると思うが継続してやっていただきたい。

- 補助金交付事業について、事業内容と実施団体を地域住民は多分知らないと思うのでもっと分かるような形でやっていただきたい。
- 防災について、実践的なものとして役に立つのがシュミレーションである。役所が機能しなくなる場合も想定して、実際に動かなくとも頭の中の訓練でも良いので様々な状況を想定して行うべき。自然災害が酷くなっている中、シュミレーションを繰り返す事で危機的意識を持つ事に繋がり、いざという時に自ずと体が動くようになる。今年は啓発講演会の開催で良いと思うが、今後は多角的に防災を捉えて実践的な防災訓練をしていただきたい。
- 防災訓練に参加し易いような工夫をしていただきたい。地域と学校の話し合いの場が増えれば可能性もあるのではないか。
- 小規模な地区の防災について、消防団・民生委員・自治委員それぞれが行っている感じがある。小規模な地区がまとまってから、大きな組織の連携に繋がるようにしなければいけないと思う。

②計画全体について

- 在来種の保護と生息環境の保全についての取組をどのように進めていくのか。
- 今後は、環境面からも地域活性化を図る必要があると考えるが、自然体験を通じた取組をしていくべきではないか。

イ 平成30年度第2次総合計画の進捗管理の概要説明について政策企画課より説明を行い、その内容について質疑応答を行った。

(2) その他

特になし

8 会議の資料名一覧

第2次佐伯市総合計画の進捗管理について

平成30年度 総合計画における分野ごとの取組状況

平成30年度弥生地域佐伯創生推進総合対策事業（進捗状況）

9 問い合わせ先

担当課 佐伯市弥生振興局 地域振興課 地域振興係

電話番号 (0972) 46-1111 (内線 35)